

The Topics

「考える委員会」最終答申書を提出

気象予報士会の今後のあり方について検討を続けていた「気象予報士会の今後を考える委員会（佐藤元委員長）」は、さる3月1日、千代田区中小企業センター会議室で「検討成果報告会」を行い、石井会長に最終答申書を手渡した。

報告会には石井会長、藤堂副会長を始めとする幹事会役員及び「考える会」のメンバーが出席。担当幹事により前年度からの検討の経緯などが説明されたのに引き続き、佐藤委員長から最終答申の報告がなされた。報告では、考え方が大事として、答申のスタンス、結論への道筋など、答申書を貫く思想が説明され、了承された。

諮問は、「気象予報士会が行うべき活動とその態勢」、「組織体制のあり方」、「会員能力の活用」、「資金調達と運用」の4項目を柱として検討し、今後の会のあり方と実現のためのプログラムを問うものであった。これに対し答申書は「答申の要点」、「問題の認識と問題解決のための包括的思想」、「諮問に対する具体的なプログラム」及び参考資料集で構成されている。



石井会長、藤堂副会長に最終答申書を手渡す佐藤委員長

目玉は、様々なニーズをもつ会員の満足を得るための具体的な活動(事業)とそのための組織改革、それに、先行きを明らかにするための長期スパンでの事業構想の明示についての提案。中でも、会が行うべき具体的な活動として提唱する様々なアクションプランは、実にバラエティーに富み、これらが実現されれば会の展望が大きく広がるというもの。但し、この場合のキーは、会員の参画意欲に委ねられている。つまり、これ

らの活動を会員がどれだけやる気になってやろうとするか、ということに掛かっている。

また、「考える会」は、気象予報士会の今後について、逆に大きな問題をつきつけてもきた。会としての法人格を取得するか否か、である。法人格を取得するのとしなないのでは、社会に対する責任と影響力、収益事業の展開などの面で、活動のあり方に雲泥

の差が生じる。「考える会」ではこの問題について様々な検討がなされたが、会の性格を左右する大問題であり、会員の総意を問うべきとして、今後の宿題として残された。

白石晶二（組織担当幹事）

日本気象学会 春季大会専門分科会に参加しよう！

「てんきすと23号」でお知らせしたように、気象予報士会は、気象学会と共催で、「気象予報士としての仕事と社会貢献」というテーマで、シンポジウムを開催します。大会第4日目[5月24日]の13：30～17：00の時間帯に、“つくば国際会議場”のC会場の予定です。

最初にパネラーの5名にそれぞれのテーマで話をいただき、その後、総合討論の時間をとりたいと思っています。パネラーの方々の講演テーマは、以下のとおりです。

板東恭子会員：気象予報士の現状

小西雅子会員：気象予報士制度の日米比較(仮題)

永沢義嗣会員：地域防災と気象予報技術

松嶋憲昭会員：地方自治体における防災業務

諫山安彦会員・富田正夫会員：小中学校向け出前授業「楽しいお天気講座」への取り組みの紹介

気象庁総務部産業気象課の民間気象業務推進係長である板東会員には、制度ができて8年になる気象予報

士の現状をご報告いただく予定です。小西会員は2002年国際気象フェスティバル気象キャスター・コンベンション部門で、グランプリを受賞された気象予報士です。日米の気象予報士制度を比較しながら、国際的に活躍できる気象予報士になるにはどうすれば良いか？という話もご紹介いただけるでしょう。永沢会員は、気象庁予報部予報課防災気象官です。防災に役立つ最新の予報技術をご紹介いただく予定です。松嶋会員は佐世保市の助役で、市の職員で気象予報の自主研究グループを作るなど、気象と防災について積極的に活動されています。最後に、関西気象予報士会の諫山会員には、関西気象予報士会が取り組んでいる、小中学校向け出前授業の様子や運営方法等をご紹介いただきます。

是非、気象予報士の皆様、気象予報士会総会の翌週の土曜ですが、つくばにお集まり下さい！！

平松信昭（総務担当幹事）

気象庁天気図

質問：八木健太郎（神奈川） 回答：永沢 義嗣（東京）

前号に掲載しました「低気圧と前線」（本誌23号2～3ページ）に関して、気象庁天気図の呼び方についても永沢会員からご教示をいただきました。

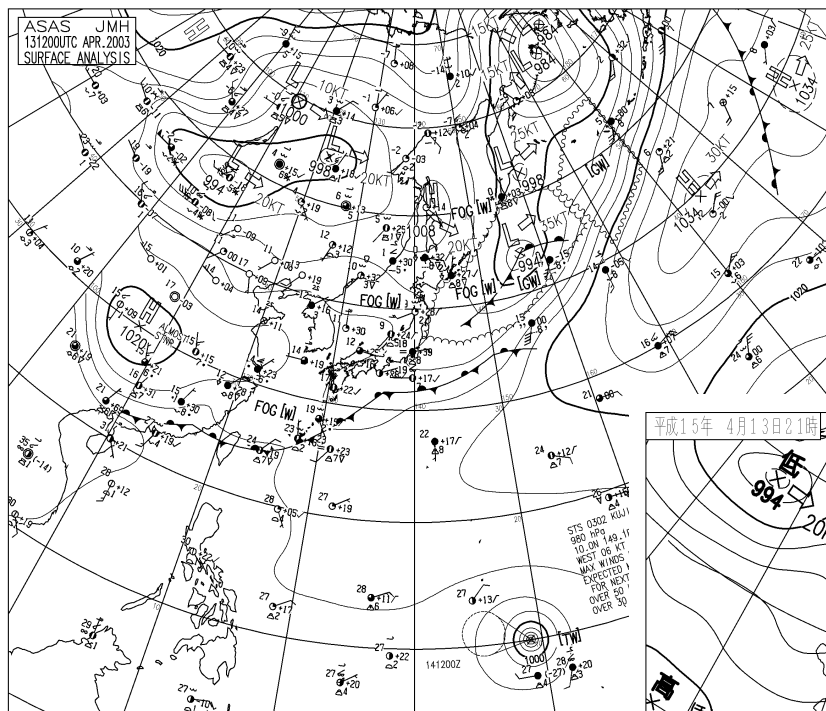
八木会員：

通称ASASと称している天気図は「速報天気図」で、修補済みのものは「印刷天気図」と記してよろしいのでしょうか？

永沢会員の答：

気象庁天気図の名称には、通称やら正式名称やらがあって結構面倒です。

「印刷天気図」（略して「印天」という）は通称で、正式名称は「天気図」でした。でした、と過去形で言ったのは、現在はもう印刷した天気図の形では発行されていないからです。気象庁の天気図作成は平成8年3月からマン・マシン方式に移行し、かつての「印刷天気図」（紙ベース）に相当するものはCD-ROMの形で発行に変わりました。CD-ROMの名称は、「気象庁天気図」です。



アジア地上天気図（気象庁提供）

「ASAS」は気象庁が部内及び部外向けに公表する「アジア地上天気図」の略号です。これは観測時刻から約150分後に提供するもので、天気図としては速報といえます。

ところが、大変紛らわしいことに、「速報天気図」という名称の天気図が別にあります。これは、一刻も早く新しい天気図を利用したいというマスコミ等の要望に応じて、日本周辺に範囲を限定し

て、観測時刻から約130分後に気象庁から気象業務支援センターへ提供しているものです。気象庁のホームページで「実況天気図」として掲載されているものは「速報天気図」です。

「速報天気図」は速報中の速報です。「ASAS」も速報ですが、アジア大陸から太平洋中部までの広い範囲をカバーし、全般海上警報の内容も簡略記入されています。

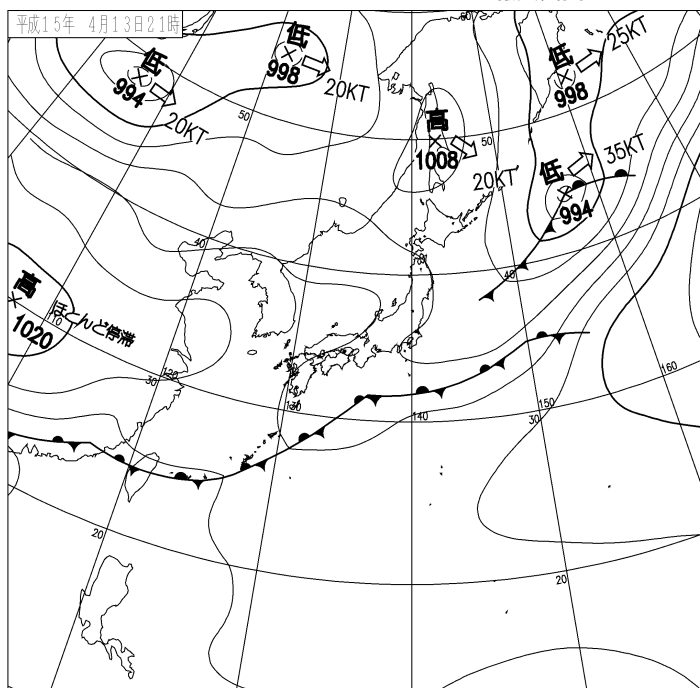
「ASAS」の基になる天気図は「アジア太平洋地上天気図」というもので、範囲は「ASAS」よりもさらに一回り広いものです。気象庁では「アジア太平洋地上天気図」を根幹の天気図と位置付けており、予報官は基本的に「アジア太平洋地上天気図」を解析し、修補します。

速報解析では、観測時刻の45分後までに入電したデータに基づく客観解析をベースに、予報官が客観解析を修正することによって天気図を仕上げていきます。解析中に遅延データの取り込み（解析者によって異なるがおおむね観測時刻の90分後）を行って、解

析に用います。与えられた時間内にひととおりの解析を行い、規定の時刻がきたら、できたてほやほやの「アジア太平洋地上天気図」の内容を、コンピュータ処理により「速報天気図」や「ASAS」の形式に変換（整形）して発行します。

その後、速報解析に間に合わなかった遅延データをも加味して「アジア太平洋地上天気図」の再解析（修補）を行い、

速報天気図（気象庁提供）

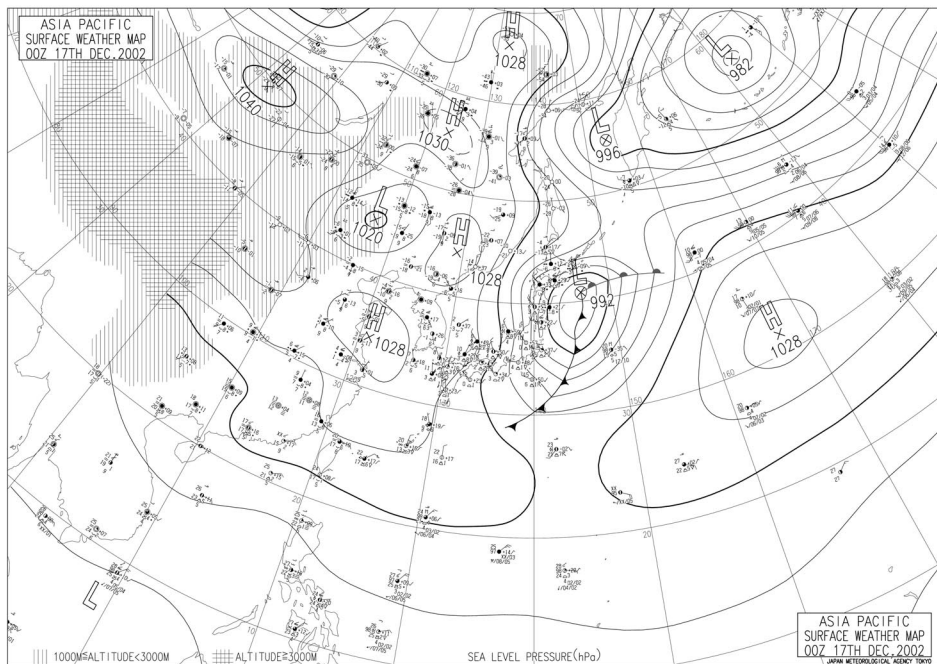


数名でチェックを行って最終調整し、観測日時から約3週間後に解析が完了します。

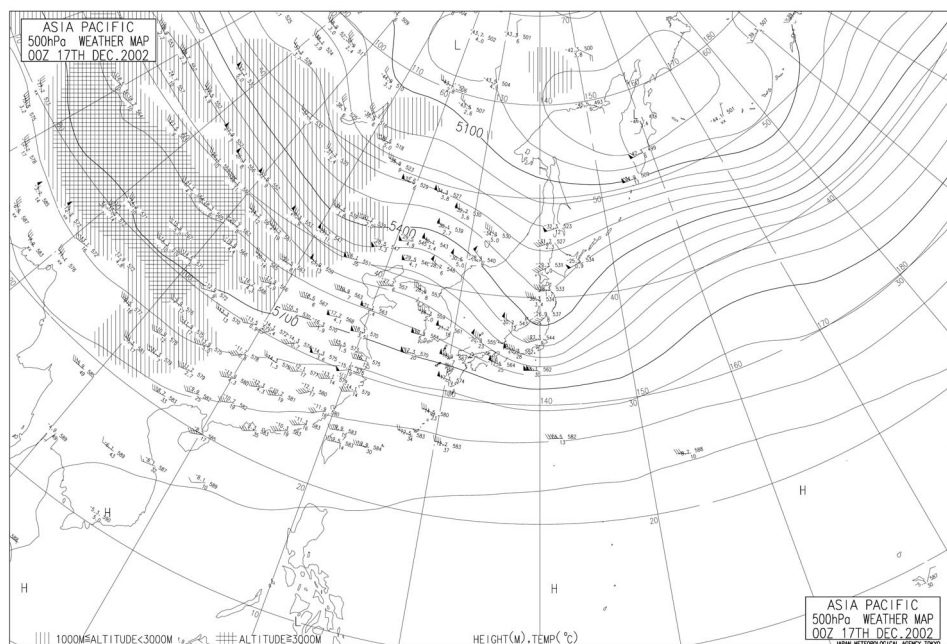
解析完了後の「アジア太平洋地上天気図」はCD-ROMに収められ、気象庁の公式天気図として「気象庁天気図」という名称で公表されます。「気象庁天気図」には、「アジア太平洋地上天気図」だけでなく、客観解析による高層解析図も収められます。

なお、「アジア太平洋地上天気図」はA3判にカラー印刷し、気象庁で10年保存後、製本して国立公文書館へ移管し永久保存されます。これは、手書き時代の「アジア太平洋地上天気図」の原図と同じ扱いです。

(本文で紹介された「気象庁天気図」のCD-ROMは気象業務支援センターから発売されています。)



アジア太平洋地上天気図 (気象庁提供)



アジア太平洋高層解析図 (気象庁提供)

本誌21号から3回に渡ってお送りした八木会員と気象庁の永沢会員による気象に関する質疑応答ですが、今後は質問を会員の皆様から公募致します。回答は、永沢会員をはじめ気象庁の会員有志の方をお願いする予定です。

「周辺は天気が良いのに、この地域だけ雨が降った理由は?」「雨が降り出す時刻が予想より大幅に早まった理由は?」「新しい予報技術のトピックは?」など気象・予報技術に関する疑問・質問がありましたら、事務センターまでお寄せ下さい。

気象予報士会・京都部会「第3回天気図検討会」に参加して

New Face

苦瓜泰秀 (兵庫)

検討会では、川辺先生をはじめ、会員の皆様から興味深い話を聞かせていただき、ありがとうございました。私は昨年10月に気象予報士になったばかりです。試験勉強は書籍中心に我流で行いましたので、長年気象に接してこられた人の話を聞くのは、技術力の向上だけではなく、感性を刺激されるような気がしてとてもためになります。また、局地的な気象現象など教科書には書いていない話を聞いたことも良かったです。

気象予報士会の行事としては、2月17日に行われた大阪管区気象台の見学会にも参加しました。懇親会などで、何人かの人と話す機会がありましたが、気象を

本業としている人は意外に少ない印象を受けました。気象産業の規模を考えれば当然ですが…。人からは「予報士を活かさないね。」と言われますが、そのような気持ちを持っている方が多いと感じました。

気象予報士会の活動などを通して、知識を深めると共に、社会貢献になるようなことができればと思います。この点に関して言えば、専門外の人が多いことが強みになるかもしれません、一人一人が得意な分野を持ち寄れば、今までに無かったような面白いことができるかもしれないと考えています。

今後とも宜しくお願いします。

世界の天気予報（ニュージーランド編）

小川 豪（神奈川県）

先日、ニュージーランド（NZ）を訪れる機会があった。NZではどのように天気予報が伝えられているのだろうか？ と関心を持ったので、TVや新聞、観光案内所などの天気予報を調べてみた。

1. NZの気候

NZは日本と同様、温帯気候に属していて四季が存在する。ただし、ご存じの通り南半球の国なので、季節は日本と反対である。四季の変化はあまりハッキリしていないようで、逆に1日の寒暖差が大きく、時には季節外れの天気になったりすることもあるようで、温度調整が大変である。事実、今年の2月末から3月初めにかけて非常に寒くなり、南部の観光都市クイーンズタウンなどでは、雪が降ったそうである（蛇足ながらNZの2月は真夏）。それが3月中旬以降、再び気温が上昇したという。

私が訪問した3月下旬は天気にも恵まれ、日中はTシャツ1枚でも過ごせるのに、朝晩は上着を着ないと肌寒い位だった。ただ、これは冷たい風の吹く南島の話しであって、北端に近いオークランドでは昼間は蒸し暑く（日本の夏ほどではない）夜もあまり冷えなかった。

2. TVの天気予報

NZではTV局数は少なく、日本のようにTV局ごとの天気予報を楽しむことはできない。私はCh.1という

TV局のニュースの中で天気予報を見ることができた。

日本と同じようにニュースキャスターが天気予報を伝える場合もあれば、天気予報専門のキャスターが伝える場合もある。天気予報専門のキャスターが気象予報士のようなものかどうかは確認できなかった。また、地上天気図に風の流れ（高気圧圏内の風が反時計回りだったのは興味深かった）や気温情報などを交えて天気概況を伝えたり、各地の天気、気温、風を予報するのもほぼ日本と同様である。これ以外に雲予想のアニメーション表示などもある。気温や気圧、雨量の単位は日本と同じだが、風速が時速(km/h)で表現されるので、すぐにイメージがわからない（アメリカのように華氏やマイル、インチ表現に比べれば、ずっと楽だが）。

私が見た限り、全国の主な都市の天気予報しかなく、地方別の天気予報はないようである。ある人に言わせれば、NZには人が住んでいるところが少ないので、地方別の天気予報は必要ないという。

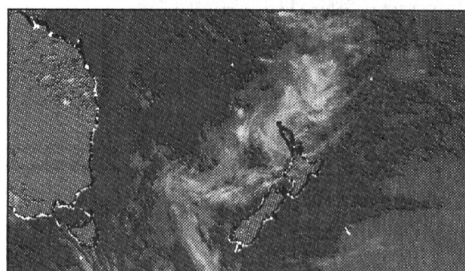
3. 新聞の天気予報

新聞では紙面の半分程度を利用し、日本以上に多彩な情報が掲載されている。ある新聞に掲載されている情報を以下に列挙する。

- ・天気概況（3日後までの予報を含む）
- ・気象衛星ひまわり
- ・各地の今日、明日の天気予報（最高／最低気温、天気、風速）

The situation

A high centered near the Chatham Islands extends a ridge across much of New Zealand, while a low drifts southwards to the west of Northland. A slow moving front should remain west of the South Island. The low should continue to drift southward tomorrow dragging a moist northerly airstream across much of the country. This low is likely to hang over New Zealand and become very complex during the remainder of the period spawning multiple centres.



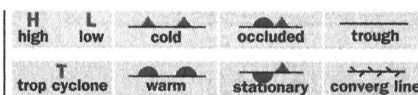
GMS-5 satellite picture provided by JMA, taken at 6 pm yesterday, shows high cloud as white and lower cloud as shades of grey.

Long range: Friday: A band of rain pushes east across the top half of the North Island, with some heavy falls along the northern fringe, but only showers reach the south. Outbreaks of rain in the west of the South Island and spreading to the southeast as well. Scattered showers in the northeast. **Saturday:** Unsettled with scattered showers over the North Island. Cool southeasterlies spread along eastern parts of the South Island with outbreaks of rain, possible heavy. Showers ease in the west.

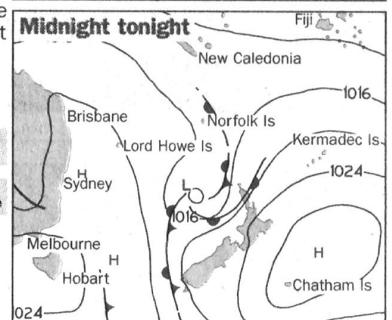
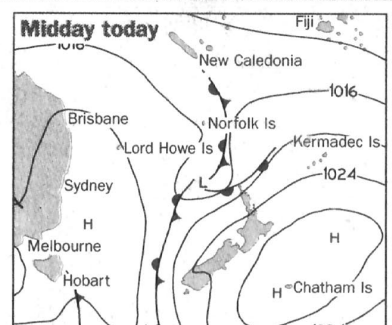
Around the North Island

NORTHLAND Whangarei: High 22° Low 17°

Today: Rain spreading south during the day, some heavy falls possible this evening. Northeasterlies, 40 km/h in exposed places. **Tomorrow:** Rain with some heavy falls. Northeasterlies, 45 km/h gusting 70 km/h in exposed places. High 23° Low 17°



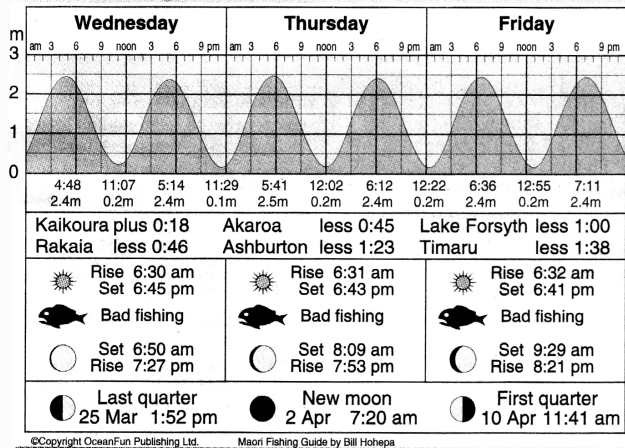
Around the country



地上天気図にはトラフや収束線も描かれている（The New Zealand Herald紙より）

- 予想天気図
- 昨日の天気と最高／最低気温
- 満潮時刻と潮位

Tides at Lyttelton



潮位情報に魚釣りのコンディションも
(THE PRESS, Christchurch紙より)

- 日出、日入、月出、月入時刻、月齢
- 海の天気予報（風向風速、瞬間風速、波高、うねりの高さおよび進行方向、視程）
- 紫外線情報（日焼けまでの時間）

UV burn times

Burn time at 1 pm. This is dependent on skin type, and is based on non-tanned, pale skin under clear sky conditions.

Auckland	20 min
Wellington	22 min
Christchurch	24 min
Dunedin	25 min

3.0

1.0

© Copyright N

Yesterday's readings

Observations taken at MetService weather stations

	Kaikōhe	Whangarei	Auckland
Maximum temperature (°C)	20.4	22.2	23.6
Minimum temperature	14.9	16.7	16.1
Grass minimum	12.3	-	10.7
24hr rainfall to 6 pm (mm)	1.4	5.8	0.4
Rainfall to date for Mar	105	157	113
Mean Mar rainfall	107	121	80
Rainfall to date this year	378	504	275
Mean annual rainfall	1573	1514	1150
Humidity at 6 pm (%)	84	84	71
Pressure at 6 pm (hPa)	-	1023	1025
Max wind gust to 6 pm (km/h)	-	44	43
Sunshine on Monday (hours)	-	-	5.3
Mar sun to 24th (incl.)	-	-	124
Average sun for Mar	147	156	183
Sun for the year to date	-	-	519
Sun average for the year	1898	1925	2140
Evapotranspiration (mm)	2.5	2.8	2.7
Soil temp at 10cm	18.2	-	19.0

日焼けまでの時間（上）や気象記録、統計値（下）もある。
(The New Zealand Herald紙より)

- 山の天気予報（特定高度における風向風速および天気、凍結高度—freezing level）
- 過去1週間の極値（雨量、最高／最低気温、日照時間、最大瞬間風速、最低芝生温度^{※1}）
- 気象統計（昨日までの今月および今年の最高／最低気温、最低芝生温度、雨量、最大瞬間風速、日照時間、蒸発量、土壌（深さ10cm）温度およびこれらの平年値等）

※1 芝生温度 (grass temperature)：開けた芝生の先端の温度で地表温度に相当

このように、実に多彩である。より多くの読者の要望に応えるためだろう。天気図にはトラフや収束線なども描かれている。しかし、降水確率や時系列予報などのきめ細かな予報はない。

さらに、電話でその地域の最新気象情報を聞いたり、農業気象をFAXで取り出すサービス（いずれも有料で前者は\$1.15/分＝約80円/分、後者は最初の1分が\$5.4＝約380円、その後99¢/分＝約70円/分）の案内もあり、日本とは違って興味深い。

For the very latest weather information, call...

0900 999 + AREA CODE

(\$1.15 per min. incl. GST)
Eg: Auckland 0900 999 09

(The New Zealand Herald紙より)

電話番号の最後にエリアコード（市外局番）を入力することにより、その地域の最新気象情報を聞くことができる（ただ、南島のエリアコードは全域03なんだが・・・）

4. 観光案内所における気象情報

NZでは各所に観光案内所があり、旅行者にとっては様々な地域情報を収集するのに便利な存在となっている。場所によってはその地域（都市）の天気予報も張り出されている。この情報はインターネットから入手しているが、会員制の有料情報のようである。

今回、世界の天気予報としてニュージーランドの天気予報を紹介しました。今後もこの企画は続けていきたいと思ひます。読者で海外に行かれた方がいらっしゃいましたら、是非ともその国の天気予報について教えていただけませんか？ 皆様の投稿をお待ちしています。

〈参考〉NZ気象情報インターネットアドレス

1. 「MET SERVICE」

<http://www.metservice.co.nz/home/index.asp>

天気予報、天気図、観測データ等

2. 「Weather and Climate Service」

<http://www.metsvw.com/>

気象衛星、レーダー、エマグラム等

ウェザーワールド2003

岩槻秀明（千葉）

お天気イベントである「ウェザーワールド2003」が、2月21日・22日に東京の大森ベルポートで盛大に開かれました。このイベントに気象予報士会はブースを出展し、主に気象予報士受験相談と、会員の書籍販売を行いました。さらに、気象現象の写真を何点か展示いたしました。

私は、今回はじめての参加なので、ちょっとドキドキしていました。特に、ずっとペーパー予報士なので、「鋭い質問が来たら対応できるかな？」と、前日から文献を読んだりして、それなりの準備（ただの気持ちの整理とも言う？）をしました。

私は両日とも参加したのですが、いずれも、休む暇がないほど盛況でした。特に、会員の書籍販売が好評



会員の書籍購入者で賑わう気象予報士会ブース

で、何冊も購入されている方もいました。今回は、石井和子会長の『平安の気象予報士—紫式部』に本人の直筆サインが加わり、飛ぶように売れていったのが印象的でした。

また、気象現象の写真を一生懸命見入っていた小学生くらいの子が、一緒に来たお父さんに「あれ、吊るし雲だね」なんて言っているシーンも見られました。「よく知っているなあ、将来の気象予報士かな？」なんて、勝手に思いながら目を細めてながめた記憶も鮮明に残っています。

1日目の夕方、生中継を行うため、急遽イベントの終了時刻が1時間繰り下がりました。気象予報士会ブースも、テレビで紹介されました。私を含め当事者は緊張した様子でしたが……アナウンサーの方が、「こちらが気象予報士会の皆さんです。私も入会しています。」なんて、言ってくださいました。

さて、私は、主に気象予報士を目指す受験者の相談を受け持ちました。皆さん、とても熱心で気象予報士の私よりも気象学をよく知っていました。果たして、納得の行く相談になったのか、ちょっと不安でしたが、「無理せずあせらず自分のペースで努力すれば必ず合格しますよ」と、最後に励ますと、「ありがとうございます。がんばります！」相談者の皆さん笑顔で答えてくれました。その笑顔が今でも忘れられません。

最後に、幹事の皆さん、イベントに参加された皆さん、遠方から掛け付けてくださった皆さん、本当にお疲れ様でした。

書籍の割引販売について

株式会社クライム様のご厚意により、気象関係を中心とした書籍を会員特別割引にて購入できるようになりました。ウェザーワールドで大好評でしたインターネット気象学もお求めになれます。

主な書籍は下記の通りです。

1. インターネット気象学
2. 気象Faxの利用法
3. 気象Faxの利用法パートII（実践編）
4. くものてびき
5. 新しい航空気象
6. 新・天気予報の手引
7. 高層天気図の利用法



◎詳しくは、クライム社ホームページ（<http://www.climb-1.co.jp>）をご参照ください。

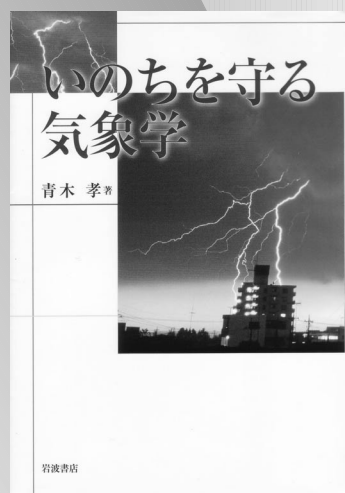
◎申し込みはホームページ（<http://www.climb-1.co.jp>）からお願いいたします。

◎申し込む際、氏名欄の御名前の後に（予会）と付記してください。（予会）と付記しない場合や、申し込みが気象予報士会会員でない場合は、割引の対象となりませんのでご注意願います。

◎お問い合わせは、必ず sakurai-a@climb-1.co.jp（クライム社 桜井様）までお願いいたします。

青木孝著

「いのちを守る気象学」



つ 先日まで、気象庁予報部予報課長という防災現業の中核にいらした青木孝さんが「いのちを守る気象学」を岩波書店から出版されました。気象に関するたくさんの方の本のなか、一般市民の目線で気象災害を取り上げているのはこれまでにない視点で、著者の防災に対する姿勢に惹かれます。

内容は、落雷や洪水などの気象災害を七つの章に分けてとりあげていて、特に各章初めの事故例と解説には臨場感があります。

さらに「災害の犠牲とならないためには、いま何が起きているのか、その現象を正しく理解すること」という観点から、現象のしくみ・成り立

ち・災害に至るまでを分かり易く解説。また、各章のしめくりに安全対策を配したのはとても丁寧で、人命を災害から守る視点から納得できます。

気象災害のための本ですが、なぜ風が吹くのかをはじめ、随所に気象学のロマンのようなものを感じながら読めますし、これからは気象予報士が防災にも参加すべきと言われる昨今、是非手元に置いておきたい一冊としてお勧めしたく思います。

石井和子(東京)



「いのちを守る気象学」

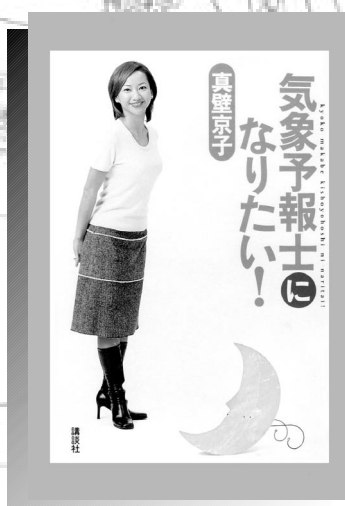
著者：青木 孝 発行：岩波書店

定価：本体2,200円（税別）

(5月17日の定期総会会場にて即売いたします)

真壁京子著

「気象予報士になりたい！」



何 の目標も夢もなく二十代半ばまでゆらゆらと生きてしまった私

が、一念発起、生まれて初めて具体的に抱いた夢が「気象予報士になりたい」だった。あんなにも勉強ができなかった、独立心のなかった、根性なしだった私が、「どうしても、気象予報士になりたい」と強烈に思い、合格率四パーセントの試験に合格した。(まえがきより)

ディスコ通いに明け暮れた短大・OL時代から、あこがれのスチュワードスを泣く泣く引退、プーターコ生活を経て、晴れて気象予報士になるまでの日々をセキララに描いた一冊。手に職をつけたい、という思いから「気象

予報士」という仕事を知り、軽い気持ちで始めた試験勉強でしたが…。

どんなことでも「やればできる!」、そんな勇気を与えてくれる本です。スチュワードスやテレビ業界のウラ話も満載で、読みごたえたっぷり。

書店、またはオンライン書店で取り扱い中。

(株)ウェザーマップのホームページからも「Amazon」「bk1」へ注文できます。

小林寿代(株)ウェザーマップ



「気象予報士になりたい！」

著者：真壁京子 発行：講談社

定価：本体1,300円（税別）

(株)ウェザーマップのホームページ

<http://www.weathermap.co.jp/>

東京支部

○募集内容

1. 実施日: 5月10日(土) 13:00~17:00
2. 実施場所: 東京文化会館 大会議室
(東京都台東区上野公園)
3. 実施内容: 天気図検討会
東京(大手町)のピンポイント時系列予報
1. 実施日: 6月21日(土) 09:00~17:00
2. 実施場所: 東京芸術劇場 中会議室
(東京都台東区上野公園)
3. 実施内容: 天気図検討会(朝から夜まで)
開催50回目の記念大会。午前の部・午後の部・夜の部(同窓会みたいな懇親会)の3部構成で途中からの参加もOK!
1. 実施日: 7月12日(土) 13:00~17:00
2. 実施場所: 東京芸術劇場 大会議室
(東京都豊島区西池袋)
3. 実施内容: 天気図検討会
久し振りに週間天気予報~梅雨明けはいつ?
4. 連絡先: 佐々木恒
E-mail: BYM00263@nifty.ne.jp
FAX/TEL: 042-398-0251

埼玉支部

○募集内容

1. 実施日: 6月7日(土) 10:00~17:00
2. 実施場所: 入間市中央公民館
3. 実施内容: 第6回例会(天気図検討会)
4. 連絡先: 東修造
E-mail: higashi@js6.so-net.ne.jp

東海支部

○募集内容

1. 実施日: 5月24日(土) 13:00~17:00
2. 実施場所: 名古屋市教育館 音楽室
3. 実施内容: アリゾナ見聞録(アメリカ南西部の天気)
名古屋工業大学 庄建治朗氏(会員) 他



編集後記

◆春のリニューアルで、表紙タイトルを少しだけ変えてみました。皆さん気付かれましたか? ◆「気象・予報技術Q&A」や「世界の天気予報」は今後も継続していきたいと思っています。疑問・質問やレポートは事務センターまでお寄せ下さい。皆さんからの投稿をお待ちしています。◆日本とニュージーランドの時差は+3時間(ニュージーランドが3時間進んでいる)。そのため、UTCとの時差は12時間となり、天気図などの時刻が換算しやすい。◆次号「てんきすと」25号は7月下旬発行の予定です。総会特集記事などを掲載します。◆25号へ記事を掲載する場合の投稿締切日は6月30日(月)、地方活動日程情報の締切日は7月11日(金)を予定しています。

◎気象予報士会 E-mail: yohohead@mb.infoweb.ne.jp

◎ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~yoho/>

関西気象予報士会

1. お知らせ: 関西在住に勤の気象予報士会会員の方などなたでも入会できます。
3ヶ月に1度程度、勉強会・施設見学会等を実施しています。
入会金・年会費は無料で、勉強会などではその都度実費徴収しています。
2. 行事紹介:
2月17日 第11回例会 大阪管区气象台見学(最新技術研修)
3月18日~20日 第3回世界水フォーラムに参加
「最新気象技術ステージ~新しい気象教育」をテーマに講演
6月には第6回「楽しいお天気講座」として大阪付近の小・中学校で気象に関する出前授業を行う予定です。これらの講演や授業についても、そのノウハウを蓄積中で、経験者について、始めての方でも気軽に参加していただけるシステムを作っております。
4. 連絡先: 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-3-2 16F
(財)日本気象協会関西支社
気象情報部気象情報課内 藤林 敏史宛
E-mail: kansai-yohoshi@mvd.biglobe.ne.jp
FAX: 06-6266-6000

四国支部

○募集内容

1. 実施日: 6月4日(日) 13:00~17:00(例会)
2. 実施場所: 徳島市文化センター 4号会議室
(徳島市城の内1番地)
3. 実施内容: 研究発表、天気図談話会、懇親会(予定)
4. 連絡先: 濱田(四国支部事務局長)
E-mail: RXR13772@nifty.ne.jp
志摩(本例会世話人)
E-mail: hai53910@par.odn.ne.jp

新潟気象予報士会(準備中)

○お知らせ:

6月28日(土曜日)に設立総会を予定しています。
(詳しい日時、場所は決まり次第お知らせします)
◆新潟気象予報士会(仮称)設立準備MLについては
niigatayoho-owner@egroups.co.jpまでお問い合わせください。

予報士会スケジュール

- 5月17日 総会
(東大・山上会館)
- 5月24日 気象学会シンポジウム
(つくば国際会議場)
- 6月28日(予定)
移動幹事会(新潟県)